

## 今月のKYT（危険予知トレーニング）

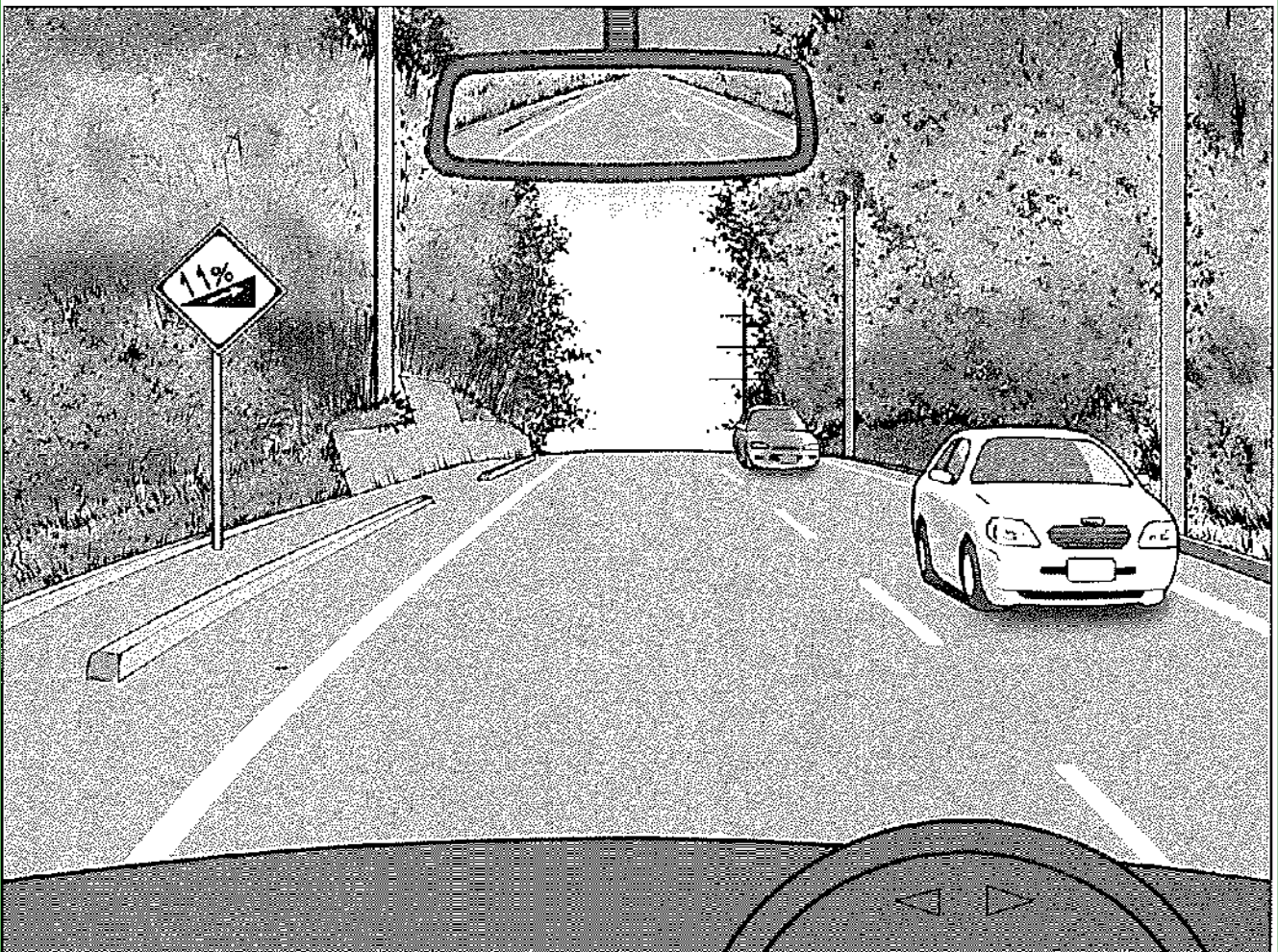
### ◆ 片側1車線の、緩やかな上り坂を走行しています。

- 上り坂の先が死角になって、先の交通状況が確認できません。
- 自車は、このまま上り坂を一気に上って進んで行きたいのですが・・・。

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

## Q どんな危険がひそんでいますか？



◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名 \_\_\_\_\_

1 \_\_\_\_\_

2 \_\_\_\_\_

3 \_\_\_\_\_



# 知 予 知 危 険 イ ホ

- ① 上り坂の向こう側に停止している車両に気づくのが遅れ衝突する。
- ② 停車車両を避けようと車線をはみ出したところ、やって来た対向車と接触する。

上り坂の先の障害物を予測する

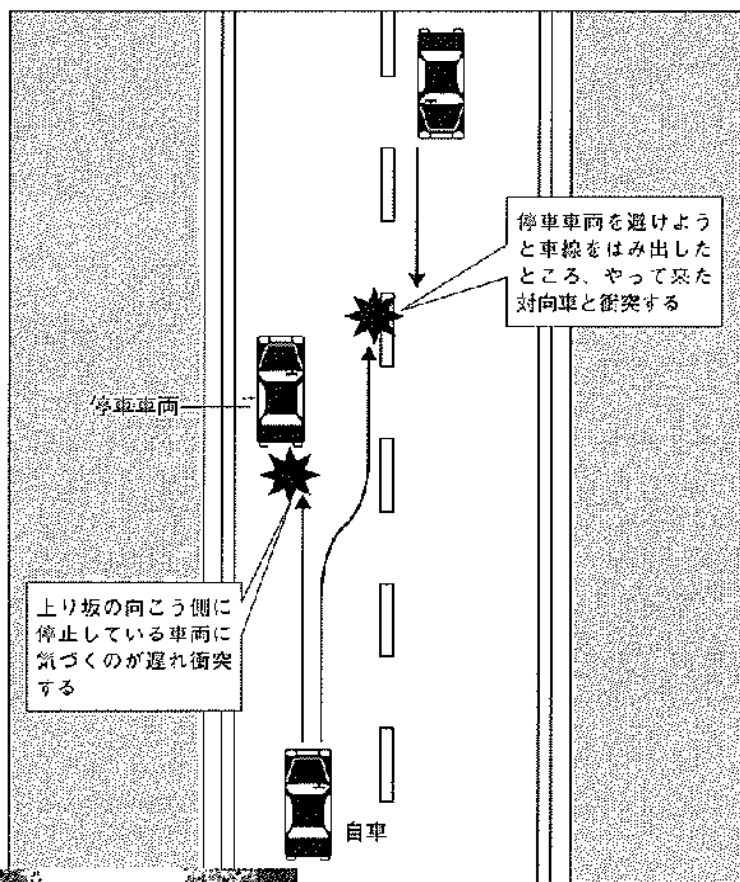
他車が見えないことから、一見何も危険がないように思える。しかし、上り坂の先がまったく死角となっているため、その先の交通状況がどのようなになっているかが確認できないところに危険がある。坂を上った先に停車車両が止まっている場合、気づくのが遅れると衝突するおそれがある。

ここでは、上り坂の先に障害物等があるかもしれないと考え、減速しながら前方をよく見て進もう。

対向車を先に行かせる

上り坂を走行し、停車車両を避けようとして対向車線にはみ出すと、やって来た対向車と接触することになる。

対向車が接近していれば、停車車両の手前で減速あるいは停止して、対向車を先に行かせてから通行しよう。



上り坂の先の障害物（停車車両）を予測し、早めの発見に努めよう

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。